



LOS ANGELES 郡

# 選挙管理計画

(ELECTION ADMINISTRATION PLAN)

2022



**DEAN C. LOGAN**  
公認記録係/郡書記



# 目次

はじめに .....	3
投票者の選択に関する法律（Voter's Choice Act） .....	3
Los Angeles 郡での VCA の導入と開始 .....	4
第 1 項 – 有権者教育とアウトリーチ計画 .....	5
1-A    メディアとアウトリーチ予算 .....	6
1-B    メディアアウトリーチ .....	6
1-C    地元コミュニティへの働きかけ .....	10
1-D    ウェブサイト情報 .....	12
1-E    言語支援 .....	12
1-F    アクセシビリティのサポート .....	14
第 2 項 – 投票センターと投票箱の場所 .....	17
2-A    投票センター .....	17
2-B    投票箱 .....	19
第 3 項 – 投票センターのレイアウト、機器、スタッフ配置 .....	19
3-A    スタッフ配置のロジスティクスと多言語サービス .....	19
3-B    投票センター支援 .....	21
3-C    投票センターのレイアウト .....	21
第 4 項 – セキュリティと緊急時対応計画 .....	22
4-A    セキュリティの方法と基準 .....	22
4-B    投票センターのサポート .....	22
4-C    サイバーセキュリティ .....	23
4-D    緊急時対応計画 .....	23
第 5 項 – 今後について .....	24

## 始めに

Los Angeles 郡は、4,100 平方マイルにわたって 570 万人以上の登録有権者を抱える国内最大の地方投票管轄区域です。公認記録係/郡書記 (RR/CC) は、この裁判管轄内で地方、州、連邦の選挙を管理し、すべての有権者が米国の民主的なプロセスに参加する知識、アクセス権、機会を持っていることを保証する責任があります。RR/CC は、公有および公的に設計された投票システムである、全国民向けの投票ソリューション (VSAP) を通じて、投票を継続的かつ情熱をもって向上させる一方で、有権者が選挙に参加するのを妨げる可能性のある障壁や障害を取り除きます。VSAP ソリューションは、便利で、アクセス可能で、そして安全な方法で、拡張されたオプションを提供することにより、郡の有権者により大きな投票の機会を確保しようとするものであり、現代的でアクセス可能で安全な投票体験です。これは、California 州全体で投票オプションを拡大するための取り組みと一致しています。

California 州ではまた、有権者が投票する方法、時期、場所を再定義することによって利用を拡充し、投票行動を最新化するために前例のない措置も講じています。上院法案 450、California 州有権者の選択法 (VCA) は、そのようにして投票を容易にするために開発されました。

この文書では、RR/CC が投票権を持つ有権者や任意の有権者を教育する方法に関して、投票所と投票箱の場所の案内を配信する方法や、投票所と投票箱の設置および維持の方法、また、投票所の設置・レイアウト、投票機器、人員配置計画の詳細、セキュリティと危機管理計画、さらに次のステップまで詳しい説明や情報が記載されています。

## 投票者の選択に関する法律 (Voter's Choice Act)

VCA は、より大きな柔軟性と利便性を提供することにより、有権者に拡張されたオプションを提供するための郡の基本的な枠組みを提供しようとするものです。VCA モデルの骨子は次のとおりです。

- 投票者は、11 日間、居住郡内のどの投票センターでも投票できる柔軟な対面式投票を選択することができます。
- 条件付き有権者登録を含む、投票所が提供する有権者サービスと支援の強化。
- 選挙日の 29 日前から利用できる安全で便利な投票用紙投函箱と投函場所を含む、郵便投票 (VBM) サービスの拡大 (セクション 2-B を参照)。

VCA 投票モデルの実行を成功させるには、投票技術、予算能力、投票場所、地域への働きかけなど、既存の条件および手順を慎重に検討するために郡を適合させる必要があります。

## Los Angeles 郡での VCA の導入と開始

VCA（有権者選択法）を実施するために、RR/CC（認記録係・郡書記）は、デザイン、アクセシビリティ、セキュリティ、技術、選挙計画、学識経験者からなる諮問委員会による検証、およびステークホルダー、CBOs（コミュニティベースの組織）、ならびに一般市民からの意見とのバランスを考慮し、有権者のニーズに焦点を当てた既存の変革型 VSAP（すべての人のための投票ソリューション）原則に基づいた基盤を構築しました。RR/CC は、諮問グループ、調査、フォーカスグループ、テクニカル分析、およびユーザーテストの組み合わせを利用して、前例を生み出し、州と地方の要件を満たし、有権者のニーズを満たし、国家投票システムのセキュリティ基準を超える新しい投票を開発するための複雑なプロセスをリードしました。

2020 年 3 月 3 日の大統領予備選挙では、郡は、有権者が利用可能な、完全にアクセス可能で安全な投票マーキングデバイス(BMD)、電子投票帳 (ePollbook)、対話型投票用紙見本、リモートアクセス可能な郵便投票 (RAVBM)、近代化されたタリーシステム、10 日間の対面投票期間、投票所、モバイル/フレックス投票プログラムなどを含む体験を有権者に提供する Voting Solutions for All People（すべての人々への投票解決法、VSAP）イニシアチブを実装しました。VCA と VSAP の初期導入を行った今回の投票では、VBM 投票用紙により 114 万人以上の有権者が投票し、さらに投票センターでは約 100 万人が投票しました。前回 2018 年 6 月に行われた全州予備選挙（約 66.5 万人の有権者が郵便投票用紙を使って投票）と比較し、今回の投票率は、VBM は約 75%、総投票率は 42% 増加したことになります。RR/CC が実施したアンケートによると、全有権者の 70% が、今回の投票経験の良し悪しについて、「どちらでもない」または「良かった」と回答しています。

2020 年 3 月 3 日の大統領予備選挙の直後、郡監督委員会 (理事会) は RR/CC に対し、選挙コード 4005 と 4007 (c) に記載されている VCA の規定を採用するよう指示し、郡はすべての登録済みの有権者に VBM 投票を郵送するよう要求しました。この早期採用は、新型コロナウイルス (COVID-19) の感染拡大開始とともに有権者や家族の健康を危険にさらすことなく、自宅から安全に投票する機会を有権者に提供するために採用されるもの

です。その結果、2020年3月3日の大統領予備選挙と比較して、2020年11月3日の総選挙では、約250万票分の追加VBM投票用紙が郵送されることになりました。また今回の選挙では、340万人以上の有権者が郵便投票を行い、約91.3万人が直接投票を行いました。この430万人の投票による76%の投票率という歴史的な結果は、前回2018年11月の県知事選の全体投票率の58%を大きく上回るものでした。RR/CCが実施した調査でも、94%の有権者が中立または肯定的な投票体験をしたと回答し、投票体験に対する満足度が向上していることを示しています。

## 第1項 – 有権者教育とアウトリーチ計画

RR/CCは、公教育およびアウトリーチキャンペーンといった一連の戦略を通じて、登録有権者および非登録有権者の投票権、投票選択肢、VCA、VSAP投票体験、投票資料の入手方法に関する教育および意識向上に向けた努力を継続しています。VSAPとVCAの実施と採用以来、RR/CCでは、郡全体で何百万人もの有権者による3つの大規模な多言語および多文化有権者教育キャンペーンを実施してきました。こうしたキャンペーンでは、有権者に十数言語による重要なメッセージを提供し、有権者に私たちのウェブサイト上とフリーダイヤルホットライン内で一般に入手可能な情報とリソースを指示するための様々な戦術と戦略を利用しました。RR/CCは、今後も、市場で提供されているデータを活用したベストプラクティス、アプローチ、通信プラットフォームによるキャンペーンの開発と実施を進めていく予定です。

さらに、RR/CCでは、ローカルおよび多言語のニュースメディアネットワークとの関係を利用して、テレビ、ラジオ、紙媒体、デジタルニュースの配信により掴んだメディア機会を獲得し続けます。これらの機会には、インタビュー、メディアラウンドテーブル、プレスブリーフィング、投票と選挙プロセスについて学ぶための様々な一般向けの運用にメディアを招待することが含まれますが、これらに限定されません。地元メディアとのこれらの取り組みは、今後の選挙イベント、重要な締め切り、有権者登録の機会、投票オプションなどに関する信頼できる情報を国民に提供します。

さらに、RR/CCでは、コミュニティーベースの組織、郡の利害関係者、提唱・擁護(アドボカシー)委員会、自治体、高校、コミュニティーカレッジ、大学など、長年のパートナーとの協力を続けます。RR/CCは、これらのパートナーシップを通じて、複数の言

語でアウトリーチ資料を共同提供し、早期投票の機会を利用し、市民の関与を推進し、有権者の参加を促す方法について、多文化コミュニティーを幅広く啓発します。

## 1-A メディアとアウトリーチ予算

21-22 年度の RR/CC のメディアとアウトリーチ予算は 6,300,000 ドルです。郡会計年度は、7月から6月までです。つまりこの予算には、2022年6月7日の全州直接予備選挙と、2020年11月3日の総選挙に向けた教育・アウトリーチ活動に関する初期経費が含まれています。この予算は、郡の有権者や住民に法的な投票権、投票の選択肢、選挙資料に関する大規模、多言語、および多文化の有権者教育キャンペーン実施に使用されるということです。

会計年度	メディア			アウトリーチ		
	予算	費用	規制適用除外	予算	費用	規制適用除外
2017~2018 会計年度	\$850,000	\$488,656	\$361,344	\$25,000	\$29,773	\$(4,773)
2018~2019 会計年度	\$1,500,000	\$587,216	\$912,784	\$25,000	\$62,216	\$(37,216)
2019~2020 会計年度	\$7,467,000	\$360,269	\$7,106,731	\$25,000	\$1,001	\$23,999
2020~2021 会計年度	\$725,000	\$290,338	\$434,662	\$16,376,000	\$12,804,721	\$3,571,279
2021~2022 会計年度	\$1,700,000	\$970,101	\$729,899	\$4,600,000	-	\$4,600,000
2022~2023 会計年度	\$700,000	-	\$700,000	\$2,000,000	-	\$2,000,000

## 1-B メディアアウトリーチ

RR/CC では、住民に効果的にリーチし、郡の多様な母集団に通信するための最良の方法を決定する際、以前の有権者教育キャンペーン、一般の有権者調査、および全国的に認められたデータソースからの報告などのさまざまなデータソースを利用しています。RR/CC は、投票オプションと権利の一般市民を教育する方法について最良の決定を下すために、データを活用したアプローチを引き続き使用し、オンラインおよびフリーダイヤルのホットラインを通じて利用可能な信頼できるリソースに市民を導きます。

メディアキャンペーンは多言語・多文化対応となります。郡コミュニティの多様性に確実にリーチするため、RR/CC は大規模で全国規模のプラットフォームに加え、さらに小規模な地元メディアとも連携します。このような包括的なアプローチにより、有権者は、通常のニュースや情報を受け取るのと同じように、RR/CC のメッセージを受け取ることができます。

## 放送メディア

RR/CC は、テレビやラジオの様々な英語と英語じゃない放送ネットワークや局と協力して、公共サービスのアナウンスを作成し、情報インタビューを行い、有料予定を実施します。他の RR/CC のアウトリーチ活動と共に、この公共サービスのアナウンスには今後の選挙、登録情報、言語アクセス、投票オプションに関する重要なメッセージが含まれます。この活動は英語話者と英語話者じゃない市民に直接に提供します。これまでのパートナーは以下の通りですが、これらに限定されるものではありません。

- ABC
- CBS
- KTLA
- FOX
- NBC
- Telemundo
- Univision
- iHeart Media
- POWER 106
- Entercom
- Entravision
- Liberman  
Broadcasting
- KNX
- KPCC
- NPR
- K-ABC
- KFI
- KJLH

## 紙媒体

RR/CC は、地元および地域の印刷メディアと協力して、市民による関与を促し、投票登録方法、投票権とオプションの見直し、選挙リソースの特定、期日前投票参加の促進などについて読者に有益な情報を提供していきたいと思えます。新聞、雑誌、ニュースレターなどが含まれます。印刷媒体は、主に英語以外の言語を使用する住民を始め、地理的に孤立した過小評価コミュニティにリーチするための信頼できる手段として機能し



続けています。これまでのパートナーは以下の通りですが、これらに限定されるものではありません。

- Los Angeles Times
- LA Daily News
- Daily Breeze
- Pasadena Star News
- Long Beach Press-Telegram
- Whittier Daily News
- San Gabriel Valley Tribune
- LA Sentinel
- La Opinion
- World Journal
- The Korea Times

## 電子媒体

RR/CC は、ニュースやエンターテイメントを消費する有権者との出会いを推進するために、さまざまな多言語プラットフォーム、ウェブサイト、ストリーミングサービスで静的およびビデオ広告を提供し、デジタルプラットフォームを引き続き拡充します。デジタルメディアは、モバイルやデジタルデバイスに大きく依存して効果的なメディアやアウトリーチ計画の重要な要素であり、情報を消費し、オンラインリソースや情報にアクセスするための手段です。

## ソーシャルメディア

RR/CC は、ソーシャルメディアプラットフォームを引き続き利用し、投票に登録する方法について郡の住民にはたらきかけ、有権者の参加を奨励します。ソーシャルメディアは、特定の視聴者にメッセージを発信し、重要な投票や選挙情報を大量に発信するための、最良かつ費用対効果の高い方法の1つです。さらに、ソーシャルメディアは、さまざまなプラットフォームでピアツーピア (ネットワーク上で機能に違いのない端末同士がデータを交信するシステム) でのエンゲージメントを行うユニークな機会を提供すると同時に、RR/CC が有権者と関わり、質問、懸念、虚偽や誤った情報の払拭にも取り組むことを可能にします。

**RR/CC の「いいね!」「フォロー」「購読」はこちらから。**

- Facebook: [facebook.com/LACountyRRCC](https://www.facebook.com/LACountyRRCC)
- Instagram: [@lacountyrrcc](https://www.instagram.com/lacountyrrcc)

- YouTube: lacountyrccc
- Twitter: @LACountyRRCC

### **メールマーケティング**

RR/CC では、有権者登録データベースに関連する電子メールアドレスの広範なリストを引き続き活用して、締め切り、投票機会、およびアクセス可能なオンラインツールにアクセスし、投票体験をより簡単かつ便利にする方法についてタイムリーで信頼できるメッセージを有権者に配信します。

### **アウトオブホームメディア**

RR/CC は、住民にメッセージを送る様々なアウトオブホームメディアの機会を評価し、決定し続けます。これまでも、バスシェルターや高速道路上のビルボードなど、伝統的な交通広告が使用されてきましたが、今後も、選挙に関する重要な情報が、郡内の多様で地理的に孤立した地域社会にも確実に提供されるよう検討が行われます。

### **ライドシェア/輸送会社**

RR/CC は、投票所に住民輸送サービスを提供する目的で、ライドシェア会社、メトロポリタン交通局、郡公共事業局、および郡内の他の輸送機関と協力して、有権者の登録と情報を促進していきます。

## インフルエンサーと信頼できるメッセンジャー

RR/CC は、今後もコミュニティ内のインフルエンサーや信頼できるメッセンジャーと協力して、RR/CC とそのパートナーが開発した主要なメッセージングを教育し、増幅します。

## 直接郵便

郡全体の選挙では、RR/CC は有権者に2種類の直接郵便物を直接に生み出しました。有権者を援助するために、最も近いの投票用紙ドロップボックス場所が郵便投票のパケットに提供されます。有権者の全員に、住居の最も近い投票センターを表示する別の郵便物が郵送されます。投票用紙見本や郵送投票用紙に加えて RR/CC は引き続き、有権者に選挙について知ってもらうため、またその詳細を提供するためのアウトリーチの一形態として直接郵便を活用する予定です。具体的には、選挙の期日前投票や郵送投票、アクセスしやすい投票方法、対面式投票センターの場所、有権者が信頼できる安全な選挙情報を入手できる RR/CC のフリーダイヤルやウェブサイトなどの情報が提供されます。

投票周期に基づき、郵送物には、有権者が英語以外の言語による選挙資料の請求や住所情報の更新ができるよう、郵便料金前払いの返信用紙が同封されます。

## 1-C 地元コミュニティへの働きかけ

一般住民に効果的にリーチし、VSAP に関する情報を提供するために、RR/CC では、郡内のパートナー機関、他の政府機関、市の事務員、CBO と協力し続けます。RR/CC は、プレゼンテーション、職員・スタッフ向けのイベントを実施し、研修と資料を提供し、一貫したメッセージが一般住民に提供されていることを確認していきます。これらの活動を支援するために、RR/CC は VSAP と VCA で地元コミュニティへの啓発・教育活動を推し進め、情報提供をするために、数多くの情報チラシとポスターを作成しました。これらの組織に提供されるすべての資料は VSAP ブランドであり、含まれる情報の関連性は高く正確であり、信頼できる情報源から提供されていることを公的に保証します。

## 郡全体での共同/利害関係者

市民へのリーチと教育には、公職者（選出と非選出）、政府機関、地方自治体、市、商工会議所、その他の地域社会のステークホルダーの協力が必要です。これらの団体は協力して、投票オプションと主要な選挙情報に関する教育と意識の向上を目指しています。

他の郡の部門との連携は、一般市民に到達し、教育する RR / CC の能力を強化します。以下の郡の団体は、以前に RR/CC を支援しており、今後は有権者の教育とアウトリーチの取り組みを支援していく団体の一例です。

- 審査員
- ビーチと港湾
- 執行官役員会
- 最高経営責任者 (CEO)
- 消費者企業総務省
- 郡全体でのコミュニケーション
- 公園およびレクリエーション
- 公共図書館
- 公共社会サービス
- 公共事業
- 会計および税徴収
- 労働力開発、高齢化および地域社会サービス

## コミュニティイベント

CBO の関係と有料メディアパートナーシップを通じて、郡全体でイベントを開催し、共催する機会を設けることで、RR/CC が新しい投票モデルに関して一般の住民にはたらきかけるための貴重な道筋を作り出すことができます。RR/CC は、多くの組織やイベントコーディネーターと数多くの長年の関係を保っており、週末の多くを費やして資料を整理し、選挙関連の資料を一般に提供します。表 2 は、RR/CC が今年参加した主要なイベントと、2022 年に出席する予定の主要なイベントを強調表示したものです。これらのイベントをはじめとして、RR/CC ではこれ以外にも数百の他の地元のイベントに参加しました。

日付	イベント	市
2022 年 2 月 13 日	Bell 5K Resource Fair	Bell
2022 年 3 月 4 日	Care Harbor Resource Event	Los Angeles
2022 年 3 月 5 日	Care Harbor Resource Event	Los Angeles
2022 年 3 月 11 日	Latina History Day	Los Angeles
2022 年 3 月 15 日	Townhall Voter Registration	Dominguez Hills
2022 年 3 月 16 日	East LA Job and Resource Fair	Los Angeles
2022 年 3 月 16 日	Gabrielino HS College and Career Fair	San Gabriel
2022 年 3 月 24 日	SOS Event	Domingue Hills
2022 年 5 月 5 日～31 日	Pomona FairPlex	Pomona

## 1-D ウェブサイト情報

### LAVOTE.GOV

LAVOTE.GOV の公式 RR/CC ウェブサイトが、郡内のすべての投票および選挙情報の主要なリソースと場所となっています。このウェブサイトでは、投票体験を向上させるために、今後の選挙、有権者登録情報、投票オプション、オンラインリソースに関する重要な情報を継続的に更新しています。

## 1-E 言語支援

Los Angeles 郡は、国内で最も人口の多い地方選挙管轄区域であるだけでなく、最も多様な郡の 1 つです。文化的、言語的多様性は、郡を形作るものの一つであり、活気に満ちたダイナミックな選挙人を生み出しています。RR/CC では、言語少数民族コミュニティのためのオープンで包括的なプロセスをサポートおよび育成するために、翻訳された資料と強固な言語支援を提供しています。郡では現在、英語をはじめとして、次の言語で有権者に言語援助を提供しています：

- アルメニア語
- 中国語
- カンボジア/クメール語
- ペルシア語
- 韓国語
- スペイン語
- タガログ語/フィリピン語
- ベトナム語
- ヒンディー語
- 日本語
- タイ語
- ロシア語
- ベンガル語\*
- ビルマ語\*
- グジャラーティ語\*
- インドネシア語\*
- モンゴル語\*
- テルグ語\*

\*これらの言語サービスは、2022 年 6 月 7 日の全州の直接予備選挙で強化されます。VBM 投票の郵送と投票マーキングデバイスに、これらの言語の追加を行います。

郡は、連邦および州の言語要件を遵守し、すべての有権者に公正でアクセス可能で透明な選挙サービスを提供するという目的を達成する際に、包括的なアプローチを継続することにコミットしています。

## 限られた英語力 (LEP) の有権者の特定とサービス提供

投票登録すると、他の言語で翻訳された選挙資料をリクエストすることができます。この要求を行った有権者は、自動的に翻訳された投票用紙見本ようしと選択した言語ですべての選挙資料を受け取ります。RR/CC には、投票所の場所などの翻訳済みの選挙資料や、バイリンガルの有権者登録カード、翻訳された VBM 申込書、投票冊子見本についての情報を有権者が要求するための多言語サポートホットラインもあります。

RR/CC は、米国国勢調査、American Community Survey、有権者登録申請、コミュニティーグループからの言語サポートリクエストなど、複数のソースから人口統計データと言語援助要求を統合する包括的なターゲティングデータシステムを開発しました。言語支援のニーズに応じて、投票所で多言語スタッフを優先する際、このデータからレポートが生成されます。既存のデータに基づいて、スペイン語を話す選挙スタッフがすべての投票所に配置されます。

## 投票センターに関する LEP コミュニティへの教育・コミュニケーション

2017 年に設立された RR/CC の言語アクセシビリティ諮問委員会 (LAAC) は、今後の選挙や投票の選択肢について LEP コミュニティを教育する上で重要な役割を担っています。LAAC メンバーは、コミュニティイベントの開催や、コミュニティ内での翻訳資料の配布などで支援しています。LAAC の組織の一部は次の通りです。

- Asian Americans Advancing Justice
- California Common Cause
- Center for Asian Americans United for Self Empowerment (CAUSE)
- Korean American Coalition
- League of Women Voters (LWV), Los Angeles
- NALEO Educational Fund
- National Iranian American Council
- Pars Equality Center

- South Asian Network (SAN)
- United Cerebral Palsy of Los Angeles

RR/CCは、四半期ごとにLAAC（言語アクセシビリティ諮問委員会）と会合を持ち、また課題に関する協力、言語サービスの拡大・強化、LEP（限られた英語力）コミュニティとの関わりを続けています。コミュニティ会議の出席や参加や加入などに関する詳細は、LAVOTE.GOVでご覧いただけます。

## 1-F アクセシビリティのサポート

RR/CCは、障害者が選挙に完全にアクセスできるよう熱心に取り組んでおり、アクセス可能な投票センターの調査、募集、変更、維持において一層の措置を取っていく予定です。

投票センターモデルは、すべての投票者が利用しやすいよう、身体障害を持つ投票者の近隣に設置されます。投票センターの評価においては、投票センターとして考慮される施設は、他の基準に加え、アクセス可能な駐車場の要件を満たす必要があります。

RR/CCは、地域投票者アウトリーチ委員会（CVOC）と投票アクセシビリティ諮問委員会（VAAC）を通じて、コミュニティに働きかけてきました。郡のVAACは、2006年、アクセシビリティと参加しやすさを向上させる革新的な戦略を実施するRR/CCを支援するために設立されました。VAACは、選挙前と選挙後の活動において、RR/CCを支援する重要な役割を担っています。

VAACとの協力の下、RR/CCは、選挙関係者にさまざまな障害を持つ投票者との接し方を教育するための、選挙関係者障害者意識向上研修のビデオを作成しました。このビデオは、選挙関係者の研修カリキュラムに組み込まれており、地域団体がその構成員に、身体障害を持つ投票者が利用できるサービスについて知らせるために利用することもできます。

### アクセシビリティ諮問団体との協働

2006年に設立されたRR/CCのVAAC（投票アクセシビリティ諮問委員会）は、有権者のアクセシビリティを高めるためのさまざまなプログラム、プロセス、サービス、ツールに関する情報提供という重要な役割を担っています。VAACメンバーは、地域のイベントの主催、RR/CCとの協力の下での身体障害を持つ投票者への援助、地域内での翻訳資料配布などの支援を行っています。VAAC参加団体の例は、以下の通りです。

- Ability First
- CA Council of the Blind (CA 視覚障害者協議会)
- CALIF Independent Living Centers (CALIF 独立生活センター)
- Disability Rights California (障害者の権利 California)
- 各地域センター
- United Cerebral Palsy Los Angeles (米国脳性麻痺協会 Los Angeles 支部)
- USC Center for Disability Studies and Community Inclusion (USC 障害研究・コミュニティインクルージョンセンター)

VAAC との協力の下、RR/CC は、投票プロセスを通じて利用可能なアクセシビリティサポートについて、引き続き地域社会に知らせていきます。RR/CC は、四半期ごとに VAAC と会合を持ち、また問題に対する協力、アクセシビリティサービスの改善、身体障害を持つ投票者との関わりを続けています。コミュニティ会議の出席や参加や加入などに関する詳細は、LAVOTE.GOV でご覧いただけます。

### アクセス可能サービス - ISB、RAVBM、VBM、BMD

郡の ISB、RAVBM、VBM、BMD は、身体障害を持つ投票者にさらなるアクセスと利便性を提供するためのツールです。これらのツールはすべて、VSAP の中核となる構成要素として設計・実装されたものです。このツールは、有権者、選挙関係者、地域団体、地元の選挙管理職員に加え、テクノロジー、アクセシビリティ、セキュリティなどの専門家が関わった、人間中心型の共同設計プロセスによって設計・実装されました。そのプロセスの一環として、使いやすさとアクセシビリティを確保するため、徹底したユーザーテストが行われました。これらのツールは、14 の基本原則が考慮され、設計されています。以下、基本原則です。

- |              |                       |
|--------------|-----------------------|
| 1. 透明性       | 4. 使用方法が簡単で高いアクセシビリティ |
| 2. 投票の選択肢の提供 |                       |
| 3. プライバシー    | 5. 信用性                |
|              | 6. 整合性                |



7. セキュリティ

11. 容易なセットアップ

8. 経済効果

12. 節電

9. スケーラビリティ

13. 容易なプログラミング

10. 柔軟性

14. 携帯性

ISB（対話型投票用紙見本）には、RR/CCのウェブサイトにあるウェブベースのアプリケーションからアクセスすることができます。ISBは19カ国語に対応し、また福祉用具を使ってアクセスすることができ、使いやすく、理解しやすいように設計されています。ISBでは、投票用紙見本をマーク、印刷、モバイル端末でのダウンロード用Poll Pass（投票パス）を作成することができます。投票券によって、投票者は投票用紙見本をBMDに転送し、選択を確認・変更し、投票を完了することができるため、投票センターでの投票が迅速になります。

すべてのBMDは、複数のアクセシビリティ機能を備えており、投票者は自分の能力に合わせて利用方法をカスタマイズできます。各BMDでは、車いすや歩行器などを利用する投票者にも対応できるよう、十分なスペースを確保しています。タッチスクリーンディスプレイは、投票者が座っていても、立っていても対応できるように調節できます。タッチスクリーンを使用できない、または使用することが困難な人のために、BMDには投票用紙を操作し、選択するためのボタンが付いた触覚キーパッドを用意しています。また、投票者はBMDの画面のフォントサイズ、色、コントラストを見やすいように調整することができます。各BMDには音声ヘッドセットが備え付けられており、投票者は投票の争点や選択肢を聞くことができます。音声のスピードや音量は投票者が調整することができます。さらに、2022年現在、BMDは音声とタッチスクリーンの両方のインターフェイスを20の言語で提供しています。

郡のVBM投票用紙と封筒は使いやすいように設計されていますが、RR/CCはRAVBMも提供しています。このツールでは、投票者はRR/CCのウェブサイトにあるウェブベースのアプリケーションにアクセスし、画面で読みやすいフォーマットで自分の投票用紙を見ることができます。投票者は、支援技術や支援機器を使用して、自分の選択項目を読み、マークすることができます。その後、投票者は、投票用紙を印刷し、RR/CCに郵送するか、投票センターまたは投票箱に投函する必要があります。

対面式と VBM の両方の選択肢により、すべての投票者にとって、独立した、非公開の、安全な投票体験が可能になります。

## 第 2 項 – 投票センターと投票箱の場所

VCA は、便利で安全、かつ簡単にアクセスできる投票センターと投函箱を郡内に設置することを要請しています。さらに、設置場所の選定、設置日数、投票時間などに関する最低基準を定めています。郡は、Los Angeles 郡の有権者にとって最適な投票場所を特定するため、広範な調査と分析を行い、また有権者が場所情報を利用できるよう包括的なアウトリーチ・キャンペーンを開始しました。投票センターと投函場所は、毎回の選挙において、事前に LAVOTE.GOV で公開されています。また、位置情報は各種メーカーを通じて有権者に共有されます。

### 2-A 投票センター

#### 投票センターの配置

投票センターの最適な場所を決定するには、人間の行動やパターンを予測しながら、州や地域の要件と地域の空間的・社会経済的条件を統合する強固なデータ主導のプロセスが必要です。RR/CC は、VCA の最低基準を超えた、コミュニティにとって理想的な投票センターの場所を特定するための包括的な戦略を活用しています。

RR/CC は、理想的な投票センターの配置を決定する際に、以下の 14 の基準を取り入れています。

1. 地理的に孤立したコミュニティ
2. 低所得者のコミュニティ
3. 限られた英語力と言語マイノリティのコミュニティ
4. 車両保有率の低いコミュニティ
5. 投票者の居住集中地区
6. 雇用の中心へ近接する地区
7. 身体障害を持つ投票者
8. 未登録投票者
9. VBM 利用率の低さ

10. 登録投票者の密度の高さ
11. 新興投票者
12. 交通アクセス
13. 交通の混雑とパターン
14. 共用駐車場

### **Los Angeles 郡の施設アセスメント**

VCA は、2022 年 6 月 7 日の全州直接予備選挙において、選挙日の 10 日前に約 114 箇所の投票センターを開設するよう求めています。RR/CC は 120 を目標としています。さらに、選挙日の 3 日前から選挙当日に、VCA は郡内に最低 568 箇所の投票所を開設するよう求めています。RR/CC は 640 を目標としています。

投票センターの最終決定と確認のため、RR/CC は各候補地の包括的な調査を行い、アクセスの良さ、適切な電源とネットワーク接続を確認します。調査終了後、RR/CC は、各投票センターの具体的な日時と部屋の割り当てを記した施設利用契約書に署名して、最終的な決定を下します。

### **投票センターの開設時間**

投票センターは選挙日の 10 日前から開設し、投票者がどの投票センターでも 2 回の週末に投票できるようにします。投票センターは、投票期間の最初の 10 日間は 1 日 9 時間以上、選挙当日は午前 7 時から午後 8 時まで開設します。

## 2-B 投票箱

投票箱の場所は、投票者、特に地方に住んでいる人、頻繁に旅行する人、郡外で働いている人へのアクセスを向上させるために重要です。VCA により、投票箱は、安全で、アクセスしやすく、施錠され、公共交通路線のできるだけ近くに設置されなければなりません。投票箱は、選挙日当日を含め選挙日の少なくとも 29 日前から、通常の営業時間内に開設しなければなりません。また、少なくとも一つの投票箱は、アクセスしやすく、安全で、通常の営業時間を含め、1 日最低 12 時間利用できるものでなければなりません。

投票箱の設置場所の推奨は、VCA の基準と地理的配分に基づいて決定されます。VCA により、2022 年 6 月 7 日の全州直接予備選挙のために、郡は少なくとも 379 箇所の投票箱の設置を義務付けられています。RR/CC は現在、24 時間利用可能な投票箱を、郡内に 380 箇所設置しています。これまでの郡全体の選挙と同じように、2022 年 6 月 7 日の全州直接予備選挙に先立って、さらに 20 箇所に投票箱を設置し、合計 400 箇所に投票箱を設置する予定です。追加された投票箱は、第 2 項 B で言及した投票センターと同様に、さらなる評価が行われます。また、すべての投票センターは投票用紙の投函場所としても使用されます。

## 第 3 項 – 投票センターのレイアウト、機器、スタッフ配置

### 3-A スタッフ配置のロジスティクスと多言語サービス

Los Angeles 郡の投票センターモデルは、郡内の様々なレベルの参加者に対応するように設計されています。郡は、小型、中型、大型の 3 つのサイズの投票センターを配備する予定です（表 3 参照）。各投票センターには、規模や投票期間中の開所日数に応じて、5 人から 27 人の選挙関係者が配置される予定です。投票センター内または隣接する選挙区の言語の要件を満たすために、最大 8 名のバイリンガルを配置することができます。

表3投票センターの所規模の閾値

投票センターの規模	必要面積	対応するBMD
小型	1,775 – 3,274	15 - 20
中型	3,275 – 4,499	25-30
大型	>4,500	35-45

以下は、投票センターにおける RR/CC が特定した選挙関係者の役割です。

- リード – 投票センターの開閉、質問や問題への対応、日々のチェックインセンター（CIC）への投票用紙の配達など、投票センターでのすべての活動を監督します。
- アシスタントリード – すべてのリードの職務を補佐し、リード不在の場合はリードの役割を担います。
- 列の監視係 – 投票者を迎え、一般的な質問に答え、適切なステーション（チェックイン係、VBM 係など）に誘導します。投票者を ISB プロセスに誘導し、BMD の使用方法を説明することで、列が適切に維持されるようにします。長蛇の列や待ち時間が発生した場合に備えて、近隣の投票センターをリストアップした資料を投票者の選択肢としてすぐに利用できるようにしておきます。
- 停止場所係 – 投票者に COVID-19 ガイドラインに沿って指示し、投票センターに入る前にすべてのガイドラインが満たされていることを確認します。
- チェックイン係 – 投票者をチェックインし、投票用紙を渡し、投票エリアに案内します。
- 投票エリア監視係 – 投票者を利用可能な BMD に誘導し、BMD に関する基本的な質問や問題のトラブルシューティングを行い、必要に応じて列の監視係の補助を行います。
- フィールドサポート技術者 – 投票センターの機器の問題をトラブルシューティングします（BMD、ePollBook、ルーターなど）。すべての選挙機器の一連の管理を支援し、待ち時間、投票用紙の在庫、インシデントを RR/CC のシステムに記録します。
- 暫定/VBM 係 – 暫定投票者や CVR 投票者を支援し、投票者から VBM 封筒を受け取り、「I Voted」ステッカーを発行します（裁量職）。

### 3-B 投票センター支援

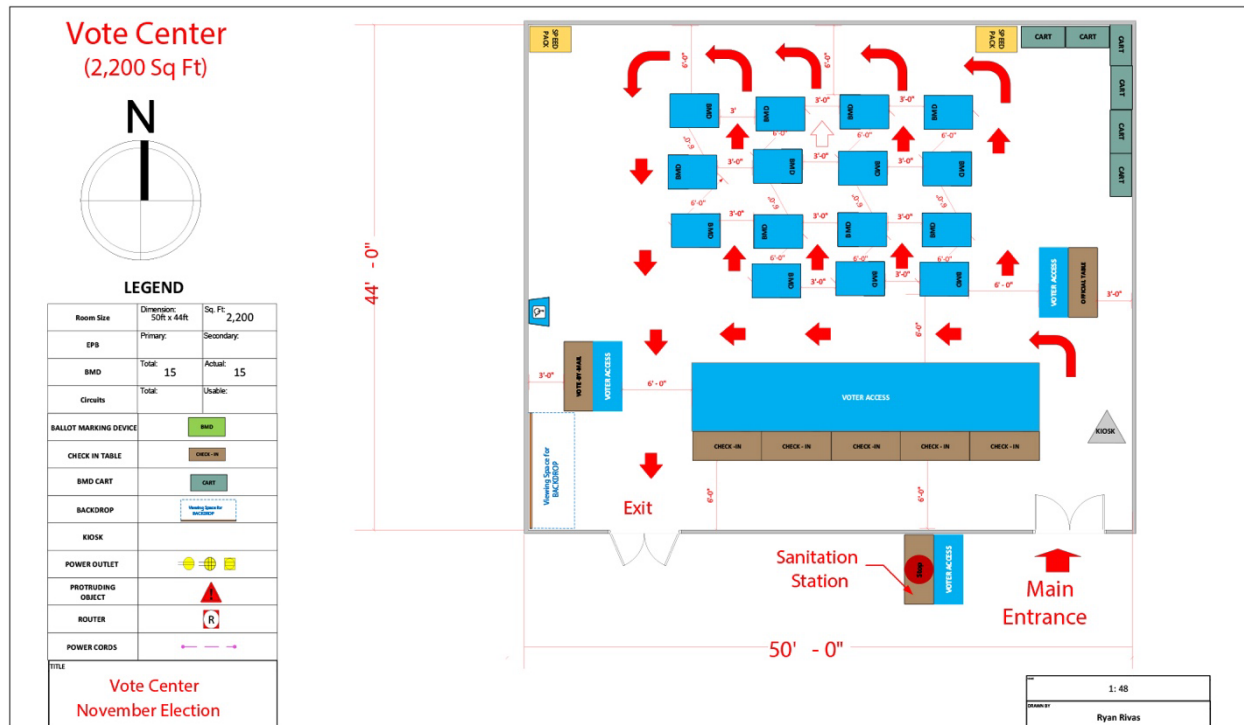
郡内のすべての投票センターには、**BMD** が設置されます。これは、完全にアクセス可能投票用デバイスで、すべての投票者が独立して、プライベートで投票用紙にマークすることができます。さらに、すべての選挙関係者は、投票プロセスの各段階において、身体障害を持つ投票者を支援するための研修を受けます。これには、身体障害を持つ投票者にとって非常に有益な **BMD** の機能に関する重点的な研修も含まれます。すべての投票センターで利用できるその他のアクセシビリティのためのデバイスには、拡大鏡、署名ガイド、ペングリップ、**20/20** ペン、場外投票サービスなどがあります。

投票センターは、さらに場外投票も提供しています。このサービスは、投票が困難、または投票センターに入ることができない有権者を対象としています。場外投票とは、投票者が車中から投票できるようにするものです。投票所の外にある所定の場所に車を駐車し、指定された電話番号に電話をかけると、選挙作業員が投票用紙を投票者の車まで運んでくれ、投票用紙に投票者自身がマークすることができます。有権者の選択肢としては、**ISB** を使った投票や紙の投票用紙にマークすることができます。

### 3-C 投票センターのレイアウト

第3項Aで述べたように、投票センターには様々な大きさのものがあります。しかし、部屋のレイアウトや各投票センター独自の様々な仕様により、各投票センターの **BMD** の正確な数は異なる可能性があります。各投票センターには、投票者がプライベートで独立した投票を行えるように **BMD** を配置するためのレイアウト図が提供されます。レイアウトは、投票者のアクセシビリティのニーズにも配慮する必要があり、各拠点の形や部屋の大きさが異なるため、それに合わせて調整されることとなります。以下は、小型投票センターのレイアウトの一例を示した図です。

## 投票センターレイアウトの例



## 第4項 – セキュリティと緊急時対応計画

### 4-A セキュリティの方法と基準

郡内の投票センターで行われるすべての投票は、州が定めたセキュリティ基準、RR/CCのセキュリティ手順、カリフォルニア州選挙法、カリフォルニア州投票システム使用手続きに従います。これには、投票センターのすべての機器がこれらの規則に準拠サポートして封印、配送、保管、使用されていること、すべての機器と投票用紙の取り扱いについて、一連の管理が文書化されていることが含まれますが、これらに限定されるものではありません。さらに、手続き上、開場時には少なくとも2名の選挙関係者を配置することが義務付けられています。

### 4-B 投票センターのサポート

投票センター職員、技術・緊急時対応サポートを行う職員を含むすべてのスタッフは、投票機器の操作、投票センターの設置、投票者の支援・処理、機密機器の保護、緊急時の適切な手続きなどに関する幅広い研修に参加します。

投票センターリードとフィールドサポート技術者（FST）には、必要なときに選挙スタッフと連絡を取るためのスマートフォンが支給されます。このスマートフォンは、過酷な条件下での使用を想定して設計された、頑丈で信頼性が高く、ほとんど壊れにくいデバイスとします。これらのデバイスにより、リードと FST は迅速に連絡を取り合うことができ、RR/CC はすべての投票センターに同時に最新情報やメッセージを送ることができます。また、紛失や盗難の際に、RR/CC が遠隔操作でデバイスの電源を切ったり、電話の設定を変更したり、電話をロックしたりできるように、セキュリティ対策が施されます。

RR/CC は、研修を受けたスタッフを配置したコールセンターを設置し、電話による問題解決を支援することができます。すべての選挙作業員および技術・準拠サポートを提供する者は、緊急時の手順に関する研修を受け、投票センターの運営と緊急時の投票者処理に関する研修マニュアルを提供されます。

#### 4-C サイバーセキュリティ

サイバーセキュリティと選挙の完全性の維持は、RR/CC の重要な優先事項です。RR/CC の情報技術チームは、RR/CC の成熟度を向上させるだけでなく、業界標準やベストプラクティスに合わせるために、ガバナンス、リスク、コンプライアンス（GRC）の枠組みを採用しました。RR/CC はネットワーク・セキュリティの運用を行い、不審な点や悪意のある事象に積極的に対応するために継続的な監視を行います。さらに、ePollbook は一元管理され、ルーターでホワイトリスト化され、静止時、移動時、転送時の暗号化を強化するため接続を暗号化し、共有キーは選挙のたびに変更されます。また、選挙専用のセキュリティ・オペレーション・センター（SOC）を設置し、不審な点や悪意のある事象に積極的に対応できるよう、継続的な監視を行います。

#### 4-D 緊急時対応計画

RR/CC は、投票センターでの混乱を解決するための強固な緊急時対応計画を備えています。一般に、単一の投票センターで大きな障害が発生した場合、RR/CC は直ちに臨時投票センターを配備します。この臨時投票センターは、スタッフと、ePollbooks と BMD をセットアップするのに必要なすべての機器から構成されています。臨時投票センターを設置している間、選挙関係者は投票者を近くの投票センターに誘導します。



適切な場合には、RR/CC は、法執行機関、州務長官事務所に通知し、投票者に確実に情報が伝わるようメディアの最新情報を提供します。自然災害やその他の妨害が投票センターや投票箱の存続に影響を与える場合、投票者を代替りの場所に誘導するための追加の通知、標識、スタッフが用意されます。

投票センターでのすべての活動が投票期間中停止した場合、選挙関係者は直ちにその投票センターの投票用機器を確保し、カリフォルニア選挙法および投票用紙の製造・仕上げガイドラインに従ってすべての投票用資材の所在を把握します。RR/CC は、代替りの投票センターの開設を試みるとともに、この変更に関する情報を広く一般に周知させます。

## 第 5 項 – 今後について

Los Angeles 郡の有権者は増加し続け、より多様化しています。また、彼らの住むコミュニティも変化し続けており、テクノロジーへの依存度が高まり、利便性が優先されるようになっていきます。RR/CC は、今後も機敏に、柔軟に対応し、必要に応じてこの計画を調整して、郡内の投票者に最高のサービスを提供していきます。